

# しが国際協力親善大使レポート

2025年9月15日

氏名 すぎなかあやこ 杉中綾子さん

隊次：2023年度第2次

職種：環境教育

赴任国：ベリーズ

## ゴミ拾い×ランニング＝プロギングイベントを初開催！

2年間中米のベリーズで環境教育隊員として活動した集大成として、2025年9月10日、配属先のオレンジウォーク町役場と協力し「プロギング（ゴミ拾いをしながらのランニング）」イベントを初開催しました。ベリーズ独立記念日の恒例行事である10kmレースに加えて開催したこの新しいスポーツは、初めての試みとして各方面からの関心を集め、参加者80名を集める大成功の第1回となりました。

同町では毎年9月21日に独立記念日のカーニバルパレードが開催され、多くの観光客が全国から訪れます。そのルートをきれいにしてカーニバルを楽しもう、という声掛けに賛同した住民たちが約2.5kmを走りながら回収したゴミの総量は計68kg！特に「チームごとに集めたゴミの重さを競う」仕掛けは競争を楽しむベリーズ人の国民性に合い、スポーツ観戦好きの町長自らが実況を務め、大変な盛り上がりとなりました。優勝チームには賞状が贈られたほか、全参加者に対して日本の一般社団法人プロギングジャパンからの感謝状が授与され、国際的な繋がりを感じてもらう機会ともなりました。ちなみに、プロギングは滋賀大学の在学中にその存在を知った常田英一朗さん（現プロギングジャパン代表）が大学の後輩たちとイベント開催したことをきっかけに日本全国へと広がっており、実施に向けてご本人からもアドバイスをいただきました。滋賀発の環境活動が国を超えて楽しまれたことはとても嬉しく、参加者からも「来年も実施してほしい」との声が多く寄せられるなど、住民が楽しみながら町を美化する恒例行事として受け入れられそうな手応えを得ました。

今回、配属先の多大なる協力はもちろん、これまでの活動で関わってきた学校の先生方や生徒、友人たちが参加してくれ、2年間の活動の集大成として、地域の大切な人々に囲まれながら最後のチャレンジをすることができました。帰国までのあと1か月、今度はプロギングがオレンジウォーク発で他自治体へと広がっていけるような仕組みを整え、地域の人々に繋がりたいと思います。そして帰国後、地域や社会に役立つような体験アクティビティの企画運営などに携わり、ベリーズでの学びを社会還元していけるよう努めます。

写真1～4. プロギングイベント参加者





5. 町役場前での参加者集合写真



6. プロギングジャパンからの感謝状を受け取る町長と杉中

